

会 議 録

会議名 (審議会等 名)		相模原市消費生活審議会 (第2回)		
事務局 (担当課)		消費生活総合センター 電話042-775-1779 (直通)		
開催日時		令和7年12月3日(水) 午後1時30分～3時00分		
開催場所		相模原市立橋本公民館 中会議室		
出席者	委員	10人 (別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	4人 (所長、ほか3人)		
公開の可否		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由		「2 報告事項(2) 令和7年度第1回被害救済部会(事例研究)の結果報告」について、相模原市情報公開条例第7条第1号の個人に関する情報に該当するため非公開とした。		
会議次第		<p>1 議 題 消費生活に関する市民意識調査票(案)について</p> <p>2 報告事項 (1) 令和6年度相模原市消費者行政の概要 (2) 令和7年度第1回被害救済部会(事例研究)の結果報告</p>		

議 事 の 要 旨

出席委員の人数が定足数に達していることを確認し、開会した。

議事に先立ち、本審議会の公開又は非公開の審議を行った。

審議の結果、「2 報告事項 (2) 令和7年度第1回被害救済部会(事例研究)の結果報告」については、相模原市情報公開条例第7条第1号の個人に関する情報に該当する内容が含まれるため非公開とした。

議題の主な内容は次のとおり。

1 議 題

消費生活に関する市民意識調査票(案)について

事務局から資料1-1、1-2、1-3により、消費生活に関する市民意識調査票(案)について説明した。

【意見等】

(小谷委員) 問31の相模原市消費生活条例の2次元コードについて、印刷が小さいためなのかホームページにつながりにくいので、もう少し大きく印刷していただきたい。

問19-1、19-2について、選択肢5の「レジャーのため」について生活上必要性の高い項目が並ぶ中にあるため違和感がある。選択肢の順番について検討いただきたい。

(事務局) ご意見を反映して修正する。

(河田委員) 2ページ目のF6の「どのような目的でインターネットを利用しているか」について、交通アクセスに関することや天気予報などの情報を見る場合は、その他の選択肢となるのか。

(事務局) 交通アクセスに関することや天気予報など情報について、ホームページ閲覧の範囲に入ると想定している。

(河田委員) 問1の消費者を取り巻く環境について、最近は自然災害に関することが注目されているので、選択肢にあっても良いのではないかと考える。

また、問19でクレジットカードの利用について設問があるが、クレジットカードの利用がリボ払いや分割払いに限られている。一括払いで利用している人に対してわかりにくいので、「一括払いを除く」などを記載した方が良い。

(事務局) ご意見を反映して修正する。

(小野寺委員) 問13-2-1や問20-1のどこに消費者相談をしたかについて、選択肢2の「メーカー(製造者・販売者・輸入者等)」について、「販売者」及び「輸入者」は選択肢1の「購入店舗」に近いので、利用者と直接関わる販売店などの選択肢と製品を作るメーカー(製造者)の選択肢として分けた方がわかりやすい。

(事務局) ご意見を反映して修正する。

(小久保委員) 問3「食」について特に気になること、問4「環境」について特に不安に感じることにについて、回答を3つまでとしているが、選択肢の内容はどれも気になることであるので、できれば制限なく選択できた方がよい。

(事務局) 過去の調査から引き続きの設問であり、前回調査と比較するため、回答について3つまでとしている。気になる項目を制限して選ぶことでより関心が高いものを抽出できると考えている。

(遠藤委員) 問3「食」について特に気になることの選択肢12「健康食品(サプリメント、特定保健用食品)」選択肢13「健康志向食品(減塩、低糖質、低脂肪)」について、具体例の最後に「等」を加えた方がよい。

(事務局) ご意見を反映して修正する。

2 報告事項

(1) 令和6年度相模原市消費者行政の概要について

事務局から資料2により、令和6年度相模原市消費者行政の概要について説明した。

【意見等】

(木村委員) 34ページの3 計量及び表示の適正化にある立入検査については、調査日を告げて実施していると思うが、その調査方法だと調査日までに事業者には調整されてしまう恐れがあるので、抜き打ちで調査を行ってはどうか。

(事務局) 調査方法については、県で調査方法に関する研修を行っており、県下同様の方法で行っている。委員のご指摘の懸念もあるが立入検査において、計量器の検査が正しく行われているかの確認などは、事業者の対応にある程度時間を要するため、調査日を知ってからでは対応が困難な項目となっている。また、立入検査の実施により、事業者が計量業務を見直すきっかけとしていただくことも目的の一つであると考えている。

(松崎委員) これまでの立入検査の中で改善が必要な事例があった場合は、どのように対応しているのか。

(事務局) 改善が必要な事例は少ないが、過去の量目検査において、食品トレーの重量を差し引いて、商品の重量を計測すべきところを食品トレーの重量を含めて計測されていた事例があり、口頭指導等を行ったことがある。

(小久保委員) 35ページの(ウ) 特定計量器の検査における、石油ガスメーター(LPガスメーター)について、令和6年度は、例年よりもの台帳検査個数が多いが、何か理由はあるのか。

(事務局) 台帳検査個数については、調査対象となる事業者の顧客数によって変わる。令和6年度については、調査対象となった事業者における顧客数が多かったことから台帳検査個数が多くなっている。

(2) 令和7年度第1回被害救済部会(事例研究)の報告

非公開

以上

※資料一覧

- 資料1-1 消費生活に関する市民意識調査票(案)
- 資料1-2 メールマガジン・LINEマガジン登録用チラシ
- 資料1-3 第3次相模原市消費生活基本計画策定スケジュール
- 資料2 令和6年度相模原市消費者行政の概要(案)
- 資料3 あっせん等結果報告書(令和7年度第1回被害救済部会【事例研究結果報告】)

相模原市消費生活審議会委員出欠席名簿

(50音順 敬称略)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	遠 藤 史 啓	神奈川県 法学部 准教授		出席
2	小野寺 愛衣	独立行政法人国民生活センター 商品テスト部 テスト第1課長	副会長	出席
3	河 田 敦 子	東京家政学院大学現代生活学部 教授		出席
4	木 村 郁 子	さがみはら消費者の会 会長		出席
5	小池 千恵子	津久井地域商工会連絡協議会(4町商工会)		欠席
6	小久保 真紀	相模原市生活協同組合運営協議会		出席
7	小 谷 馨	神奈川県弁護士会		出席
8	古 橋 裕 一	相模原商工会議所 商業部会		出席
9	前 山 善 憲	相模原市商店連合会 会長		欠席
10	松崎 吉之助	相模女子大学人間社会学部 教授	会長	出席
11	毛利 則彦	相模原商工会議所 金融保険業部会		欠席
12	矢野 優真	公募委員		出席
13	横山 正美	神奈川県司法書士会		出席